

レフェリーキャラバン

REPORT

01

ユース 審判員が集結



神戸協会

2025.10.18
高塚高校

内容

- ・ブラクティカル
トレーニング
- ・試合割当(実践)

市内の高校生審判が集まり、普段することが多いとされる副審に関する技術向上に焦点を置き、フラッグテクニックやオフサイドの判定について、実技トレーニングを実施しました。

練習試合では主審をすることで経験を積み上げ、講義においては、グループディスカッションで意見交換を行うなど、成長出来た1日となりました。

REPORT

02

熱い 議論が交わされた



北播磨協会

2026.02.28
社高校

内容

- ・競技規則改正説明
- ・試合割当(実践)
- ・振り返り

教室に集合し、まずは2025/26競技規則の改正部分の説明が講師からありました。

次に設定していただいた練習試合へ参加審判員が主審/副審を交互に入れ替わり、多くの実践経験を積みました。

試合後にはビデオ撮影した中から判定について、熱い議論が交わされ、スキルアップを図りました。

REPORT

03

PKか？ Not PKか？



丹有協会

2026.03.20
三田学園高校

内容

- ・ブラクティカル
トレーニング
- ・試合割当(実践)
- ・振り返り

主審の動き方と副審の旗の挙げ方など、基本的なトレーニングを最初に行いました。

その後、練習試合へ主審/副審を割り当て、実践開始。3本目の試合中にあったPKに値するファウルがあったか否かについて、教室に戻り全員でビデオにて検証を行うことに。

より理解を深めるため、実際にその場面を2人が再現し、判定する際の基準や考慮事項を学びました。

運営側による

振り返り

2025年度より、<レフェリーキャラバン>と称し、県協会指導者部との協力のもと、審判指導者を都市協会へ派遣し、講義だけでなく試合を利用するなどして「実践的で、楽しく、審判スキルの向上」を目的として開催しました。

後期では3協会が実施され、それぞれ特徴をもったカリキュラムを準備。参加審判員も身体と頭を使いながら、意欲的に受講していただきました。

恐らく日常では審判に特化した形でビデオ撮影したものを振り返って分析/検証することはなかったと思われるので、今回で動き方や身体の向き、判定の可否などを知ることができたように思います。

誰しも最初から上手い人などおらず、失敗から学ぶことの方が多いため、貴重な経験になったのではないのでしょうか。

今回のキャラバンで、1人でも多くの方が審判に興味を持っていただくと嬉しく思います。

また各協会ともに練習試合を設定してくださった各学校/チーム関係者様へお礼申し上げます。

ありがとうございました。